

2022年3月21日
改訂 7月21日
改訂 10月25日
改訂 2023年2月2日
改訂 2023年3月13日

施設利用責任者の方へ

神奈川県立音楽堂における新型コロナウイルス感染拡大防止のための のお願い

神奈川県立音楽堂(以下、音楽堂)をご利用いただく際、感染拡大防止対策として、以下をご確認の上、安全・安心に催しが実施できるようお願いします。

音楽堂が行う基本的感染予防につきましては「新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」にてご確認の程お願いします。

本内容は施設内の感染症対策の促進を目的としており、感染者が発生しないことを保証するものではありません。感染予防にはくれぐれもご留意くださいますよう、お願いします。

本内容は各種団体が発行するガイドライン等の最新情報に基づき、適宜見直しを行います。予めご了承ください。

[楽屋について]

必要に応じ不織布マスクの着用をご検討ください。

音出しや発声時は、[舞台上について]の各項目に準じてください。

第3～第5楽屋を使用の際、換気扇を常時稼働の上、ご利用ください。

各楽屋の定員を遵守ください。

※第1楽屋:4名 第2楽屋:12名 第3楽屋:4名 第4楽屋:6名

第5楽屋:6名 第6楽屋:13名 リハーサル室:25名

予備室1:2名 予備室2:2名

[舞台袖について]

上手袖、下手袖それぞれに10名以上が滞留しないようにしてください。

[客席及びホワイエ、ロビーについて]

出演者等と来場者は接触しないでください。

客席及びホワイエ、ロビーの出演者等も舞台上の出演者数を合わせてカウントしてください。

管楽器は結露水の処理を行ってください。

[舞台上について]

① 全ジャンル共通

舞台上に同時に出演、登壇等する人数は最大 60 名としてください。

以下の各項目に記載された距離、間隔が確保できない場合、音楽堂に事前相談の上、アクリル板で遮蔽するなどの対策をしてください。

舞台上の出演者等から最前列の観客までの距離は、水平方向で2m程度(最低でも1m)を確保してください。

マイクを使用する場合、共用を避けてください。もしくは、使用者が変わる毎にマイクを除菌してください。

② オーケストラ・室内楽・吹奏楽・管楽アンサンブル等

演奏者等は、概ね1mの間隔を確保してください。

指揮者と演奏者との距離は2m以上を確保してください。

トランペット、トロンボーンは前方の演奏者との距離を 1.5m(可能な限り2m)確保してください。

管楽器の結露は、給水型ペットシートを持参し、終了後回収し持ち帰りいただく等の対策を行なってください。

③ 声楽・落語会等

すべての出演者は1m程度の距離を保持し、近距離で向かい合うスタイルや激しい体の動きを伴った演出は避けてください。

演奏者等が入る場合、「②オーケストラ・室内楽・吹奏楽、管楽アンサンブル等」の事例に準じてください。

④ 合唱・歌唱等

歌い手の間隔は、前後 2m程度、左右1m程度とし、発声時の移動は間隔を保った上で行ってください。

伴奏者等が入る場合、②オーケストラ・室内楽・吹奏楽、管楽アンサンブル等の事例に準じてください。

歌い手は平行に同方向を向くようにし、向かい合う配置は避けてください。

指揮者及び伴奏者と歌い手の距離、及び指揮者と伴奏者との距離は、2m程度確保してください。

⑤ 講演会・研修会・表彰式等

登壇者間はマスク着用の場合1m程度、しない場合は2m程度の距離を確保してください。

⑥ バレエ・ダンス・お遊戯会・オペラ・演劇等 あるいは上記のいずれにも属さないジャンル

音楽堂と事前に詳細な打ち合わせを行ない、総合的な感染防止対策を講じてください。

※参考資料

(公社)全国公立文化施設協会

「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」

(公社)全国公民館連合会

「公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」

(一社)クラシック音楽公演運営推進協議会

「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」

(一社)全日本合唱連盟

「合唱活動における新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドライン」

(一社)コンサートプロモーターズ協会 他

「音楽コンサートにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」

(公社)日本バレエ協会

「バレエ教室における新型コロナウイルス拡大予防ガイドライン」

(一社)緊急事態舞台芸術ネットワーク

「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」

厚生労働省 マスクの着用について